

商 団 連

第341号

平成28年7月1日

1部 50円

発行所

全国卸商業団地協同組合連合会

東京都港区虎ノ門1-8-10

セイコー虎ノ門ビル2階(〒105-0001)

電話 03-3591-1251(代表)

編集発行人 平澤和人

第49回通常総会

例年通りホテルニューオータニで開催

役員改選

商団連の平成28年度通常総会(第49回)が、さる6月24日(金)、東京・紀尾井町のホテルニューオータニ「悠の間」において開催された。

総会は、午後1時30分より開催され、司会者より、会員101名(本人出席61名、委任状出席40名)の出席により、総会成立のための定足数である会員数の過半数を超えているため、本総会は有効に成立した旨宣せられ開会した。

はじめに福井弘会長が開会の挨拶をし、引き続きご臨席いただいたご来賓の方々よりご挨拶が行われた。中小企業庁数内雅幸商業課長、独立行政法人中小企業基盤整備機構高田史理事、株式会社商工組合中央金庫安達健祐社長が挨拶された。

ご来賓の挨拶の後、福井会長を議長に選出し、議案審議に入った。

第1号議案「平成27年度事業報告・財産目録・貸借対照表・損益計算書並びに剰余金処分(案)」について承認を求める件

栗原専務理事より原案の説明が行われたのち、桑原功監事(協秋田卸センター)より、平成27年度決算関係書類及び業務について監査した結果、財産管理・収支の処理・予算の執行・業務

小正芳史(鹿児島総合卸商業団地協)、連合会等員外監事「栗原 眞(全国卸商業団地協同組合連合会)の9名が選考委員に選ばれ、別室において選考委員会が開かれ、小正芳史選考委員長から委任を受け平澤専務局長が選考結果を報告した。議長が選考結果について議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

そのあと、新役員による理事会が開催され、会長、副会長、専務理事の選任が行われた。

最後に、平成27年度商団連グループ保険の加入促進運動において福祉共済事業の発展に大きく貢献された協八戸総合卸センターの橋本昭一(協八戸総合卸センター)に感謝状が贈呈され、感謝状が贈呈され通常総会は終了した。

新役員は以下の通り。

会長 福井 弘(協ベイタウン尾道)

副会長 田中 善一(協仙台卸商センター)(新任)

夏目 潔(協長野アークス)

滝 幹夫(協一宮織維卸センター)

吉木 学(協新大阪センシティ)(新任)

小正 芳史(鹿児島総合卸商業団地協)

神戸 厚(商団連)

相談役理事 尾池 良行(大阪船場織維卸商団地協)

専務理事 栗原 眞(商団連)

理事 守 和彦(協札幌総合卸センター)

センター)

藤村 文昭(協盛岡卸センター)

吉瀬 達三(高崎卸商社街協)(新任)

小谷野 和博(協川越パンテアン)

清 康夫(小田原卸商業団地協)

栗山 直樹(協山梨県流通センター)

中村 泰平(協浜松卸商センター)(新任)

高桑 幸一(協金沢問屋センター)

林 弘之(協大阪紙文具流通センター)(新任)

松本 啓(協米子総合卸センター)

米原 健二(協松江卸センター)

小椋 徹範(協津山卸センター)

町田 貴(高知卸商センター)

八頭司正典(協福岡卸センター)

橋高 克和(佐世保卸団地協)

桑原 功(協秋田卸センター)

石田 一太郎(千葉総合卸商業団地協)(新任)

猪瀬 安次(オーエスビジネス株)

(会員名簿順に記載)

平成28年熊本地震により
被災された皆様に心より
お見舞い申し上げます。

講演会

講師 伊藤 聡子氏
演題 地域経済の活性化
が、日本の元気を
取り戻す鍵

通常総会終了後、午後3時より、フリーキャスター、事業創造大学院大学客員教授である伊藤 聡子氏による講演会が行われた。演題は「地域経済の活性化が日本の元気を取り戻す鍵」でした。

伊藤聡子氏は「日本の元気を取り戻す鍵は、地域経済の活性化」を主題とし、地域に根差した独自の取組みで活躍する人びとやビジネス事例、地域をイキイキと輝かせるヒントを数多く取材しメディアや講演で発信している。

懇親会

講演会終了後、会場を「翔の間に」に移し、懇親パーティーが行われた。

先の総会において役員改選が行われ、副会長が交代したことから、新しい副会長の紹介を行った。

続いて、全国卸商業団地対策議員懇話会の会長で、衆議院議員・自由民主党幹事長代行である細田博之先生、細田先生欠席のため司会者がメッセを代読した。中小企業庁次長の木村陽一氏よりご挨拶をいただいた。全国中小企業団体中央会専務理事の高橋晴樹氏に乾杯のご発声をお願いした。

和やかな歓談の後、商団

組合代表者、事務局担当者の変更

会員組合の平成28年度通常総会が終了し、理事長及び事務局に一部変更がありました。変更は下記の通りです。

平成28年6月30日現在
（理事長の交代）

組 合 名	前理事長	新理事長
協北見総合卸センター	佐々木 一明	小松 正道（㈱小松屋商店）
協仙台卸商センター	氏家 裕一	田中 善一（㈱タゼン）
福島卸商団地	蒲倉 昌二	舟山 昭三（㈱舟山商店）
協須賀川卸センター	橋本 良紀	水上 哲夫（㈱水上パーツ商会）
高崎卸商社街	橋本 修平	吉濱 達三（和光化学㈱）
埼玉県南卸売団地	松本 昭美	溝口 泰男（溝口洋紙㈱）
協浜松卸商センター	吉田 治郎七	中村 泰平（㈱ナカムラ）
協静岡流通センター	櫻井 幹一郎	伊藤 哲（㈱大和工機）
協松阪卸センター	森川 益次	竹上 秀洋（丸亀不動産㈱）
協大阪紙文具流通センター	西村 一郎	林 弘之（㈱庫内）
協大阪南港鉄鋼流通（協）	津井田 照久	岡田 実（北島鋼材㈱）
協神戸船用品センター	谷田 憲美	島田 善通（㈱岸計器製作所）
協鳥取卸センター	嶋田 耕一	手石 幸洋（鳥取科学器械㈱）
岡山県総合流通センター卸（協）	佐藤 三平	山本 勉（ビーナスベッド㈱）

組 合 名	前担当	新担当
青森卸売業（協）	工藤修身事務局局長	今 隆一事務局局長
高崎卸商社街	川岸一義専務理事	相田 淳専務理事
協三次総合卸センター	田中典典事務局局長代理	丸 子 由美子事務局長
岡山県総合流通センター卸（協）	井伊貴事務局長	岩本孝弘事務局局長
高知卸商センター（協）	箭野雅美専務理事	田村秀人専務理事

（注）当連合会が確認できた分だけを記載しています。

〈平成27年度 第2回〉

事務局長会議開催

去る3月4日（金）、東京都港区のメルパルク東京において、平成27年度第2回商団連事務局長会議が開催された。

当日は、北は北海道、南は九州の全国から61団地63名が出席した。

はじめに東日本大震災から5年が経過し節目の年でもあることから、犠牲者へのご冥福をお祈りするたために黙とうを捧げた後、会議に入った。

葛永代表世話人（協ペイタウン尾道）の挨拶、今回初めて出席される方を紹介し、全員協議会が行われた。全員協議会の審議内容は、平成27年度事業及び収支中間報告、平成28年度事業計画案並びに収支予算案、平成28年度会費徴収案、会則及び慶弔規定の改定

が審議されいずれも原案どおり承認された。その後、商団連事務局長会世話人及び監事の改選が行われた。新世話人及び監事は以下の通りとなった。

ウン尾道葛永専務理事、副代表世話人は、協青森総合卸センター藤本専務理事、協熊谷流通センター及川専務理事がそれぞれ選任され、全員協議会は終了した。

全員協議会終了後、来賓紹介に続き、中小企業庁経営支援部商業課飯内課長より来年4月に予定されている消費税率引き上げに伴う軽減税率の導入について、独立行政法人中小企業基盤整備機構高度化事業部今野部長よりアライザード制度、地域資源法の認定、高度化制度の見直しについて、全国中小企業団体中央会振興部丸山部長より活路開拓事業、卸

商業団地機能向上支援事業について、株式会社商工組合中央金庫審査第二部萩森上席審査役より現在の景況、セーフティネット機能の発揮、地域活性化の貢献について、住友生命全国共済推進室牧田部長より商団連グループ保険の加入促進について資料を基に説明が行われた。

昼食後、各団地の取り組み事例として7団地より説明が行われた。

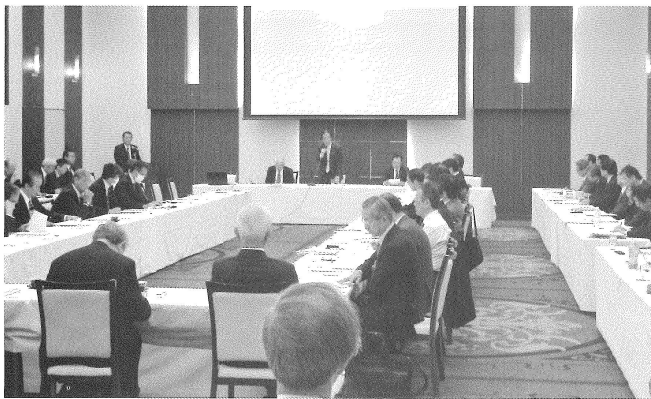
平成28年度 卸商業団地機能向上支援事業 6組合採択

平成28年度卸商業団地機能向上支援事業については、6月1日の選考委員会において、当連合会の会員6団地の事業が採択された。

この支援事業は、卸商業団地における施設の建て替えや新規立地への移転等の団地再整備、各種共同事業の再構築等による機能強化など、団地機能を向上させるために行う事業を実施するに当たって、必要な調査研究、事業化調査、基本計画・詳細計画策定、システム開発などの費用の一部を助成するものです。

採択案件の概要は下記の通りです。

協札幌総合卸センター	①新卸センタービル基本設計 ②交通アクセスメント ③土壌汚染調査
協秋田卸センター	①団地内街灯の照度及び設置場所、適正台数の調査・研究 ②危険箇所や死角の把握、防犯カメラ設置場所や機種を検討 ③秋田環状線による団地への影響についての調査・研究
高崎卸商社街	①高崎間屋街2050年ビジョンの策定 ②小売支援システムの新たな開発
協津卸商業センター	①団地内施設更新促進事業の調査・研究 ②団地内施設再配置事業の調査・研究
協大阪紙文具流通センター	①建物・設備の現況調査・研究 ②団地再整備に向けたビジョンの策定
協広島総合卸センター	①景観事業計画の策定



事務局長会

- ① 鶴巻総合卸センター
多田幸治 事務局長
再整備の経過と方向性について
47年経過し、建物老朽化の進行、設備の陳腐化、補修費の増大、建築基準法を満たしていない等の理由により再計画を検討。現在各組合員にヒアリング調査を実施している。
- ② 鶴巻台卸商センター
武田要二 事務局長
卸町コミュニティプラザ・復興公営住宅について
東日本大震災後に行政からの強い協力要請もあり、「地域の復興への貢献」を図るとともに、卸町の未来のために組合の結束力を強化するために「コミュニティ拠点施設H O R U S E」を建設した。
- ③ 秋田卸センター
藤原正志 常務理事
秋田まるごと市場について
国道の拡幅によりグラウンドとして利用ができなくなった土地の有効活用を模索。
組合事業としての利用は断念し、組合員が新会社（秋田まるごと）市場を設立した。平成12年11月にオープンとなった。卸団地のにぎわい創出、賦課金の軽減となった。
- ④ 鶴巻前橋問屋センター
佐藤 充 事務局長
地区計画について
平成12年に商業用地以外に建築物を制限する建築協定を締結していたが、平成24年に組合員の土地に集合住宅建設計画が浮上し、しかし建築協定では開発計画を防げないため、市の指導もあり「地区計画」を市へ提出・受理されたもの。

- ⑤ 泉州卸商業団地(協) 堀野員功 事務局次長
再開発計画について
JR東岸和町駅の高架化工事に伴い駅に隣接している土地を活用して商業施設を建設する開発を計画している。出店希望者の組合員による出資会社を設立し、組合より土地を定借契約し、商業施設の建設運営は出資会社が、組合の負担・リスクを極力低くする試みとなっている。
- ⑥ 鶴巻島総合卸センター 守田貞夫 専務理事
組合事業について
1. 老朽化に伴う組合員施設の建替え等の施設面・資金面のサポート体制について
2. 研修事業としてビジネススクールの開講
3. 立地が埋立地のため、安心安全の街づくりとして組合BCP、防犯カメラ、街路灯のLED化の取り組みについて
- ⑦ 高知卸商センター(協) 堀野雅美 専務理事
団地の再整備について
卸売業を取り巻く社会変化により組合員企業の倒産廃業により空地が増えるため、平成15年に建築協定の一部変更により、卸だけではなく小売業参入も可能となり現在小売店は25店舗となり、休日には賑わう街となっている。今後も小売店を中心に卸団地の賑わいを図っていく。南海トラフ地震に対応したBCP対策も含めた長期ビジョンの作成に

<世話人>

北海道地区	鶴巻総合卸センター	多田 幸治	事務局長
東北地区	鶴巻青森総合卸センター	藤本 和夫	専務理事
	鶴巻台卸商センター	武田 要二	事務局長
関東地区	鶴巻東京ベ・マルシェ	湧川 勝巳	専務理事
	鶴巻熊谷流通センター	及川 亨	専務理事
	鶴巻横浜マチャング「ジギン」センター	手塚 茂男	専務理事
中部地区	鶴巻一宮織維卸センター	森 昌宏	専務理事
	鶴巻井問屋センター	福岡 敬義	事務局長
近畿地区	阪神総合卸商業団地(協)	並河 俊夫	専務理事
	大阪船場織維卸商団地(協)	工藤 寛士	専務理事
中国地区	鶴巻鳥取卸センター	山崎 善壽	事務局長
	鶴巻ベイタウン尾道	萬永 英明	専務理事
四国地区	鶴巻島総合流通センター	藤原 公	事務局長
九州地区	鶴巻崎卸センター	笠瀬 伸一郎	専務理事
	鹿児島総合卸商業団地(協)	野村 博一	事務局長
連 合 会	全国卸商業団地協同組合連合会	栗原 眞	専務理事
	全国卸商業団地協同組合連合会	平澤 和人	事務局長

<監 事>

船橋総合卸商業団地(協)	金子 英昌	事務局長
高崎卸商社街(協)	相田 淳	専務理事

<顧問>

全国卸商業団地協同組合連合会	神戸 厚	副 会 長
----------------	------	-------

平成28年度 賀詞交歓会開催



商団連 福井弘会長



衆議院議員 細田博之氏



中小企業庁長官 豊永厚志氏

平成28年1月28日(木)、東京都港区芝公園のメルパルク東京において新年賀詞交歓会が開催された。

会員38団地43名、卸商業団地対策議員懇話会の先生方、関係諸機関の幹部の方々が多数出席され盛大に行われた。

はじめに会長の福井弘氏より年頭の挨拶が行われた。会長は、「いま大切なことは政府の諸施策のフォローの風に乗って、未来に向けて目の前の課題の山をしっかりと一緒に登りましょう」と挨拶された。

つづいて、来賓を代表して全国卸商業団地対策議員懇話会の会長である衆議院議員の細田博之先生より二語にわたる中小企業が寄り添って事業を進める。特に商業団地を繁栄させることは非常に素晴らしいことだと思ふ。今後成長発展してほしい」との挨拶をいただいた。

引き続き中小企業庁長官 豊永厚志氏より「経済は確実に良くなっている。収益、雇用は改善している。その恩恵が中小企業の方々にも行き渡るようにしたい。皆様と一緒に良い経済環境が築けるように頑張りたい」と挨拶された。中小企業基盤整備機構理事 渡部寿彦氏より「今後とも高度化事業が皆様に貢献できるように時代のニーズに合った使いやすい制度となるように見直しをしていきたい。皆様のチャレンジ・チャンス・チェンジを最大限にバックアップしたい。」とご挨拶された。

その後、商工組合中央金庫代表取締役副社長 木村幸俊氏より「地域の抱える課題は様々ですが、地域に根差した中小企業が他の事業者と連携により、地域産業の特色・強みを生かしていくことが不可欠だ。」とのご挨拶のあと、木村副社長ご自身の乾杯が行われ、参加者一同和やかに歓談が行われた。

当日の主な来賓出席者は、次のとおり(敬省略)

中小企業庁
豊永 厚志(長官)
宮本 聡(次長)
菊川 人吾(事業環境部金融課長)
内田 雅彦(経営支援部商業課長)
伊藤 三郎(経営支援部商業課長補佐)

「独立行政法人中小企業基盤整備機構」
渡部 寿彦(理事)
今野 高(高度化事業部長)
長 崇(高度化事業部長)
河井 豊(高度化事業部長)
佐藤 勉(関東本部長)

「株式会社商工組合中央金庫」
木村 幸俊(代表取締役副社長)
中村 俊彦(常務執行役員)

清水 謙之（執行役員・人事部長）
 菊地 良治（執行役員・審査第一部長）
 中谷 肇（執行役員・総務部長）
 佐藤 隆久（審査第二部長）
 秋森 宅治（審査第二部長）
 席審査役
 〔全国中小企業団体中央会〕
 高橋 晴樹（専務理事）
 及川 勝政（政策推進部長）
 〔全国卸商業団地厚生年金基金〕
 齊藤 英雄（理事長）
 〔往友生命保険相互会社〕
 大下 亮（取締役常務執行役員）
 〔東京経済大学名誉教授〕
 宮下 正房

〔全国卸商業団地対策議員懇話会〕
 衆議院議員（本人）
 細田 博之、津島 淳、小淵 優子、神山 佐市、黄川田 仁志、原田 憲治、盛山 正仁、逢沢 一郎、鬼木 誠、下地 幹郎、衆議院議員（代理）
 大島 理森、鈴木 俊一、亀岡 偉民、田所 嘉徳、佐田 玄郎、門山 宏哲、牧島 かれん、上川 陽子、江崎 鐵磨、谷 公一、赤澤 亮正、小島 敏文、小林 史明、岸田 文雄、塩崎 恭久、井上 貴博、参議院議員（本人）
 中曽根 弘文、宮沢 洋一、太田 房江、広田 一、山本 太一、小坂 憲次、若林 健太、舞立 昇治



商工中金副社長 木村幸俊氏

商団連事務局からのお知らせ

「平成28年度第1回事務局長会」

開催日時：平成28年9月8日(木)～9日(金)

開催場所：福島卸商団地(協)

福島県福島市鎌田字卸町10-1

電話：024-553-1451

懇親会、宿泊場所：「ザ・セレクトン福島」

福島県福島市太田町13-73

電話：024-531-1111

「平成28年度ブロック会議」

日付	ブロック	幹事団地
H28. 9. 15(木)～16(金)	北海道ブロック	(協)帯広卸売センター
H28. 10. 27(木)～28(金)	中・四国ブロック	(協)松山卸商センター
H28. 10. 13(木)～14(金)	関東ブロック	宇都宮卸商業団地(協)
H28. 11. 7(月)	近畿ブロック	大阪機械卸業団地(協)
H28. 10. 6(木)～7(金)	中部ブロック	(協)高山卸商業センター
H28. 11. 25(金)	東北ブロック	(協)山形流通団地
H28. 12. 2(金)～3(土)	九州ブロック	鹿児島総合卸商業団地(協)

「トップセミナー」

平成28年12月5日(火) 開催場所：KKR ホテル東京

団地トピックス

春の上州どっと楽市開催

高崎卸商社街(協)

春の「上州どっと楽市」（第20回）が平成28年4月23日(土)～24日(日)の2日間にわたり開催され、晴天の下、35,000人の人出で賑わった。

「上州どっと楽市」は、高崎卸商社街(協)が毎年2回、春と秋に開催している地域振興イベントで、衣食住の文化を発信することを通じて高崎問屋街周辺に賑わいを創出。各種イベントを併催するとともに、組合員のみならず広く県内外からの企業の出店を募り、地域経済の活性化に貢献している。

商工中金前橋支店が初の試みとしてイベントに参加。前橋支店次長の手作りによる「鉄道模型ジオラマ」を出展し、来場者に喜ばれていた。

地元テレビ局の取材に答えていた親子連れは、「鉄道模型の操作までできて非常に楽しかった」と語っていた。

商工中金創立80周年をPRすることはもちろん、商工中金と組合の連携やパートナーシップを内外に大いにアピールすることとなった。



中小機構

中小企業を、日本の原動力に。

日本を支える中小企業へ、中小機構がおくる「3つのエール」。

1 CHALLENGE …「理想に挑む」

インキュベーション事業／地域資源活用・農商工連携・新連携／経営相談・専門家派遣／ファンド事業

2 CHANCE …「需要を掴む」

販路開拓／オンライン・マッチング／海外展開／情報提供

3 CHANGE …「変化を取り込む」

事業承継・事業引継／事業再生／高度化事業／共済制度／震災復興支援／人材育成

中小機構は、市場環境やニーズの変化に応じたサポートを通じ、挑戦する中小企業のチャンス創出をお手伝いします。

中小機構

検索



商団連グループ保険

商団連グループ保険は、商団連のスケールメリットを生かした手頃な掛金で、会社掛は死亡退職金・弔慰金の資金手当てができ、またファミリープラン(個人掛)は、ご家族の保障に役立つ制度です。

連合会として「商団連グループ保険」の更なる普及を図るために積極的な加入推進運動を展開して参りたいと考えておりますので、引き続きご理解とご協力をお願い致します。

今年度は特にファミリープラン(個人掛)を出来るだけ多くの従業員の方々に知っていただくために、住友生命保険(本制度の委託会社)の担当者が、従業員の皆様へのPR活動のお願いに伺うかと思っておりますので、その節はご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

連合会会員の所属員の皆さまへ

商団連のグループ保険(ファミリープラン) のお知らせ

**スケールメリットを活かしたお手頃な掛金で大型保障！
ご本人はもちろん、配偶者、お子様の保障もご準備できます。**

制度の特徴

- ◆ お手頃な掛金で病気死亡、不慮の事故による障害・入院にいたるまで幅広く保障。
 - ◆ 連合会会員の所属員の役員・従業員および会員の事務局専従役員と、そのご家族(配偶者・お子さま)であれば、告知のみで申込みできます。医師の診査も必要ありません。
- ※告知の内容によっては、ご加入いただけない場合があります。

商団連グループ保険(ファミリープラン)に付帯して、加入者を対象とした商団連独自の制度「商団連給付金(見舞金)」を実施しています。

＜ご本人が38歳男性、配偶者女性34歳、お子さま8歳の場合＞

※不慮の事故による5日以上入院が対象

◆ご本人
ご加入コース 主契約保険金額 **500万円** … 月額掛金 **1,410円**
(不慮の事故による死亡・高度障害750万円、障害175万円～25万円、入院(※)1日につき3,750円)

◆配偶者
ご加入コース 主契約保険金額 **500万円** … 月額掛金 **978円**
(不慮の事故による死亡・高度障害750万円、障害175万円～25万円、入院(※)1日につき3,750円)

◆お子さま
ご加入コース 主契約保険金額 **200万円** … 月額掛金 **310円**
(不慮の事故による死亡・高度障害300万円、障害70万円～10万円、入院(※)1日につき1,500円)

ご家族3名の月額掛金合計は



2,698円

剰余金が生じた場合には配当金が支払われ、実質のご負担は軽減されます。

詳細はパンフレットを必ずご覧ください。

なお、ご照会・お手続き等は、住友生命 ○○支社 (担当○○ 電話○○-○○-○○○○) までお問い合わせください。

CG2016-0067

商団連グループ保険(会社掛)のご案内



職員や従業員の万一の
時に備えたいが・・・

そんなお悩みの事業者のみなさんへ
商団連グループ保険がぴったりです。

しかし、あまり費用が
かけられない・・・



手厚い保障

病気死亡・高度障害、不慮の事故による死亡・高度障害
不慮の事故による障害・入院まで幅広く保障

加入資格

組合職員並びに会員組合員企業の役員・従業員の方で
健康な方であれば、告知のみで申込みできます。
医師の診査も必要ありません。

手頃な掛金

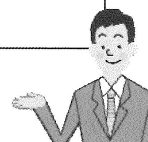
例) 40歳男性が保険金額100万円にご加入の場合
ひと月の掛金は282円

掛金の扱い

掛金は、会社負担となり福利厚生費として
全額損金に算入できます。

※他にも商団連独自の見舞金制度もあります。

ご加入年齢	病気死亡・高度障害保険金
15歳～70歳	100万円～1,000万円



パンフレット、お問い合わせは、
各組合事務局または商団連事務局(03-3591-1251)までお問い合わせ下さい。

全国卸商業団地協同組合連合会(商団連)
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル2階
TEL 03-3591-1251 FAX 03-3591-1253

受託幹事会社 住友生命保険相互会社

全国卸商業団地企業年金基金

(厚生労働大臣の認可を受け設立した企業年金です)

新規加入を随時受付しています

◇公的年金のほかプラスアルファの年金(20年保証)
(年金として5年、10年、15年の受け取りも選択可)

◇確定給付企業年金法に基づく基金型確定給付企業年金
(予定利率2.0%の安定運営)

◇掛金は全額事業主拠出(税務上損金算入)
(月々の基準給与(標準報酬)の1.1%)

◇退職金の一部としての利用も可能
(退職金の一部を社外積立て)

全国卸商業団地企業年金基金は、全国卸商業団地厚生年金基金の後継制度として、平成28年3月1日に設立いたしました。

各卸団地組合の組合員企業などで、当基金に加入していない企業の新規加入について、随時ご相談を受付けております。

また、他の厚生年金基金の解散に伴う残余財産分配金を持ち込んだ新規加入も可能です。

ぜひ、加入のご検討をお願いいたします。

なお、組合員企業が新規加入した場合、商団連および所属卸団地組合に当基金から協力費(各卸団地最高20万円)を支給いたします。

掛金額(例) 毎月の掛金は基準給与の1.1%です。

基準給与	加入者10名	加入者20名	加入者30名	加入者50名
25万円	27,500円	55,000円	82,500円	137,500円
35万円	38,500円	77,000円	115,500円	192,500円

一時金額(例) 3年以上加入で一時金が支給されます。

基準給与	10年加入	20年加入	30年加入	40年加入
25万円	291,400円	629,500円	1,021,800円	1,477,200円
35万円	407,900円	881,200円	1,430,500円	2,068,000円

老齢給付額(例)10年以上加入した人は年金として受取れます。
年金を5年間で受取る場合の年金額(年額)です。

基準給与	10年加入	20年加入	30年加入	40年加入
25万円	60,480円	130,560円	212,040円	306,480円
35万円	84,600円	182,880円	296,760円	429,000円

年2回(6月と12月)に分けて支給されます。

お問合せ 全国卸商業団地企業年金基金 TEL 03-3560-7017 FAX 03-3560-3054
〒107-0052 東京都港区赤坂5-1-31 第6セイコービル4階

住友生命からのお知らせ

各種セミナー(講師料無料)のご案内 (商団連協賛 講師は住友生命より派遣)

従業員の皆さまの豊かなライフプランづくりをお手伝いします。知識だけでなく、働き甲斐・生き甲斐に資するセミナーです。

①入社5年目以内・若者向けライフプランセミナー

社会保険の仕組み、これから起こるライフイベントとその備え (時間目安 1~2時間)

②50代前半向けセカンドライフセミナー

定年後のマネープランと生き甲斐づくり (時間目安 2~5時間)

③経営者さま向け相続対策セミナー

相続税の仕組みと今から出来る具体的な軽減対策 (時間目安 1~2時間)

お申し込み・お問い合わせは、商団連事務局(担当:吉澤 電話03-3591-1251)もしくは、住友生命(担当:牧田 電話03-5550-4057)あて、「商団連新聞のセミナー広告の件で」とお申し付けください。

住友生命ではCSR(社会貢献活動)に取り組んでいます

お問い合わせは最寄支社(<http://www.sumitomolife.co.jp/acceptance/>)までお願いします。

目指せ!ルーヴル 第40回 こども絵画コンクール

住友生命はこどもたちの夢を育み、心豊かな成長をお手伝いしたいという思いから「こども絵画コンクール」を1977年から開催しており、過去39年間の応募総数は1,079万点を超えました。2000年からはルーヴル美術館の後援を受け、同美術館に優秀作品を1ヶ月間展示しております。またお渡しする画用紙1枚につき1円、応募作品1点につき10円を、公益財団法人日本ユニセフ協会に寄付し、世界のこどもたちを支援しています。今年もたくさんのご応募をお待ちしています。



第39回ルーヴル美術館賞「雨でもたのしい学校」

24時間テレビ「愛は地球を救う」協賛

住友生命は平成18年より24時間テレビ「愛は地球を救う」に協賛しており、今年で11年目となります。毎年、全国の支社店頭で募金箱を設置し募金を募るほか、番組放映日には全国約150箇所で開催された募金活動が行われ、過去10年間の募金総額は114,944,967円となっております。



大阪なんばパークス